

平成26年3月25日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 3件
(うち油だき温水ボイラー1件、ガストーブ(ガスボンベ式)1件、
ガスふろがま用バーナー(都市ガス用)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 4件
(うちウォーターサーバー1件、ライター(使い切り型)1件、
リチウムイオンバッテリー1件、凍結防止用ヒーター(水道用)1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 5件
(うち電子レンジ1件、エアコン1件、湯たんぽ1件、扇風機1件、
携帯電話機1件)
4. 重大製品事故ではなかったと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議(※)
において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

(管理番号A201200364を除く。)

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（都市ガス用）について （管理番号A201300915）

① 事故事象について

株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（都市ガス用）を使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部（整圧器）のダイヤフラム（ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁）に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2007年（平成19年）4月19日からウェブサイトによる周知（2013年3月7日再周知）とともに、使用者へのダイレクトメールの送付や電話連絡等によりこれまで継続的に注意喚起を行い、OEM製品を含む対象製品について無償点検・部品交換（ガバナ部（整圧器）等の交換）を実施しています。

なお、今後も更なる無償点検・部品交換の促進に向けて取組を強化することとしています。

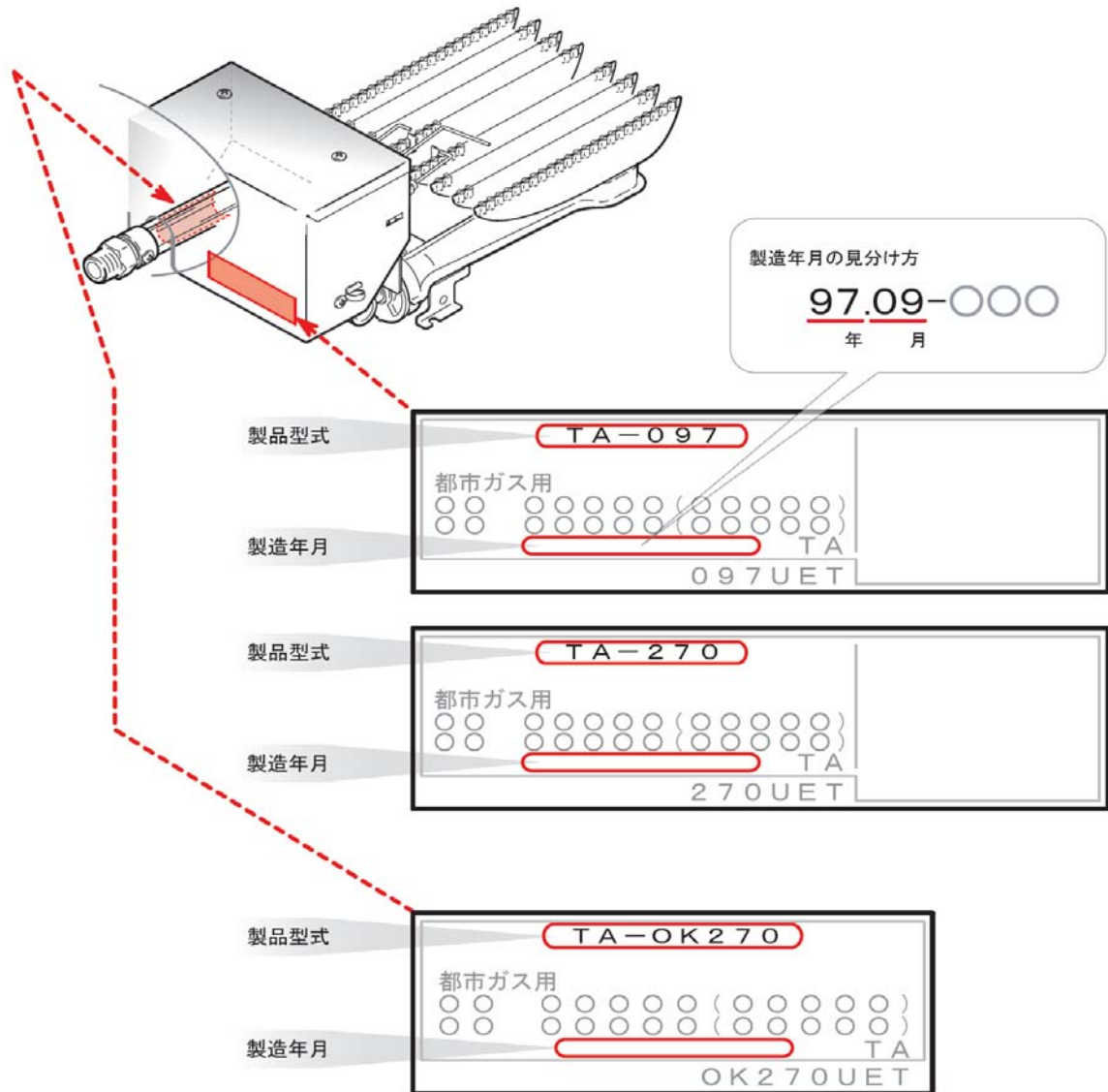
③ 対象製品：会社名、機種・型式、対象製造期間

会社名	機種・型式	対象製造期間
(株)世田谷製作所	R38B R137B CS31B CS32B CS33B FE15 TA-097UET TA-270UET TA-OK270UET GS-1	1998年5月～2006年5月 1997年6月～2006年5月 1998年6月～1998年8月 1998年10月～2006年4月 2001年5月～2001年6月 2000年4月～2006年5月 1997年9月～2006年5月 1997年8月～2006年5月 1997年8月～2006年5月 2000年11月～2005年11月
(株)オカキン	OK-AR型-LE OK-BR型-LE	1997年11月～2006年8月 1997年11月～2006年7月
東京ガス(株)	ST-913RFA ST-912RFBシリーズ ST-9150CFS	1997年6月～2006年5月 1998年5月～2006年5月 1999年10月～2006年5月
(株)ハーマン	YF702	1997年6月～2002年2月

注：対象製品には、株式会社世田谷製作所のガスふろがま用バーナーを組み込んだガスふろがまを製造している株式会社オカキンと、株式会社世田谷製作所からバーナー付ふろがまのOEM供給を受け、販売している東京ガス株式会社及び株式会社ハーマンの製品があります。

2007年（平成19年）4月19日からリコールを実施
改修対象台数 39,337台
改修率 74.1%（2013年12月31日現在）

対象製品の外観及び確認方法



対象製品の確認方法：浴室内に下記リモコンのどちらかが設置されている場合は、上記対象表の機種・型式、製造期間が該当していないか御確認ください。



※ GS-1のストーブは除きます。

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

株式会社世田谷製作所

電話番号：0120-634-126

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp/>

東京ガス株式会社

電話番号：0120-133-278

受付時間：9時～19時（月～土）

9時～17時（日・祝日）

ウェブサイト：<http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20070418-03.html>

株式会社オカキン

電話番号：0120-581-126

受付時間：9時～19時（日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.okakin.com/news/0.html>

株式会社ハーマン

電話番号：0120-248-772

受付時間：9時～17時30分（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2007/04/post-14.html>

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担 当 : 大木、長井、清重
電 話 : 03-3507-9204 (直通)
F A X : 03-3507-9290

(株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー (都市
ガス用) についての発表資料に関する問合せ先)
経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 水野、長沼、山田 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201300911	平成26年3月9日	平成26年3月20日	油だき温水ボイラー	OH-3711FFE	株式会社ノーリツ	火災	工場で建物を半焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。現在、原因を調査中。	北海道	
A201300914	平成26年3月9日	平成26年3月20日	ガストーブ(ガスボンベ式)	CB-7N(岩谷産業株式会社ブランド)	株式会社千石(岩谷産業株式会社ブランド) (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、火災報知機が鳴動し、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	鹿児島県	3月20日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201300915	平成26年3月11日	平成26年3月20日	ガスふろがま用バーナー(都市ガス用)	TA-097UET(株式会社オカキン製ガスふろがまに組み込まれたもの)	株式会社世田谷製作所	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 事故の原因は、現在、調査中であるが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部(整圧器)のダイヤフラム(ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁)に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられる。	大阪府	平成19年4月19日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 74.1% 3月12日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済 3月20日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201200364	平成24年7月26日	平成24年8月14日	ウォーターサーバー	AC01-3	アクアクララ株式会社 (輸入事業者)	重傷 1名	当該製品を使用中、幼児(3歳)が火傷を負った。 調査の結果、当該製品のチャイルドロック機構に異常が認められなかったことから、保護者が目を離れた際に幼児が温水コックのレバーを操作し、熱湯が出て火傷を負ったものと推定され、幼児の使用に関する注意表示がなかったことも事故発生に影響したものと考えられる。	香川県	平成24年8月17日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201300906	平成26年3月11日	平成26年3月19日	ライター(使い切り型)	D-610CR	株式会社リーイン (輸入事業者)	火災	遊技施設で当該製品を使用後、かばんに入れておいたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	沖縄県	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300907	平成25年11月14日	平成26年3月19日	リチウムイオンバッテリー	CHE-039-B	ティ・アール・エイ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品をテーブルタップに接続して充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	埼玉県	事業者が事故を認識したのは3月6日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し嚴重注意
A201300910	平成26年2月19日	平成26年3月20日	凍結防止用ヒーター(水道用)	SHP-10	日本電熱株式会社	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	宮城県	事業者が事故を認識したのは2月26日

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300908	平成26年3月18日	平成26年3月20日	電子レンジ	火災	店舗で当該製品を使用後、当該製品の庫内を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201300909	平成26年3月6日	平成26年3月20日	エアコン	火災	当該製品を使用中、建物を全焼する火災が発生した。当該製品の施工状況を含め、現在、原因を調査中。	京都府	3月20日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201300912	平成26年1月30日	平成26年3月20日	湯たんぽ	重傷1名	当該製品を使用中、左脚に低温火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が事故を認識したのは3月13日
A201300913	平成26年3月12日	平成26年3月20日	扇風機	火災	事務所で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	京都府	製造から40年以上経過した製品
A201300916	平成26年3月6日	平成26年3月20日	携帯電話機	火災	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	北海道	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

ウォーターサーバー（管理番号：A201200364）



ライター（使い切り型）（管理番号：A201300906）



リチウムイオンバッテリー（管理番号：A201300907）



凍結防止用ヒーター（水道用）
（管理番号：A201300910）

